

研究課題名「切除可能大腸癌肝転移に対する術前化学療法の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2008年1月から2018年12月までに当院で大腸癌肝転移に対する肝切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

大腸癌肝転移に対する肝切除は予後の改善が期待できる一方、腫瘍径5cm以上や4個以上の多発転移は予後不良因子であると報告されている。切除可能な肝転移に対する術前化学療法の有用性は確立されておらず、標準的な治療戦略は存在しない。そこで当教室における大腸癌肝転移切除症例を検討し、術前化学療法の効果を検証する。

本研究は上記対象患者の臨床情報を後方視的に解析することでおこなう。

研究期間は当院の生命倫理委員会の承認後から2020年12月31日とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術内容、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号：052 - 741 - 2111

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 消化器外科 1 米川佳彦